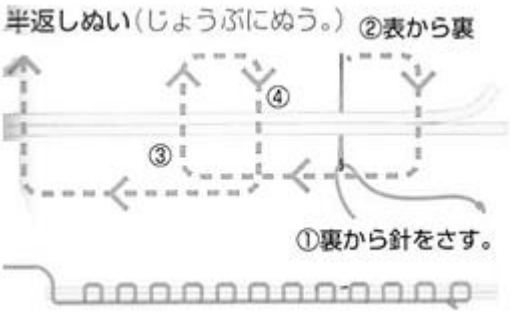
製作の手順

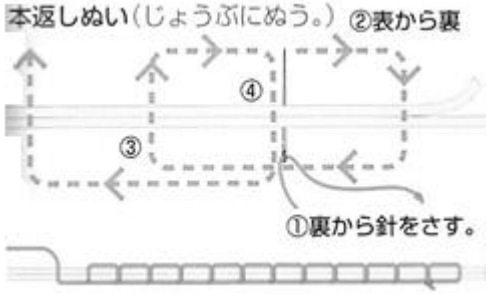
⑴布の方向の確認・裁断
⑵印付け（縫うところ・布を折るところ・口あきどまり）
⑶袋のわきを縫う
⑷ひも通しを作る　ⅰ）口あきを縫う
　　ⅱ）ひも通しを縫う
⑸ひもを通す
　装飾を施す（ボタン付けなど）

動画で確認してみよう！

手縫いの基礎
- 玉結び、玉止め
- なみ縫い
- 半返し縫い
- 本返し縫い
- まつり縫い
- かがり縫い
- ボタン付け

小袋の作り方
- 印付け
- まち針を打つ
- 袋の脇を縫う
- 口あきを縫う
- 三つ折りの仕方
- ひも通しを縫う
- ひもを通す

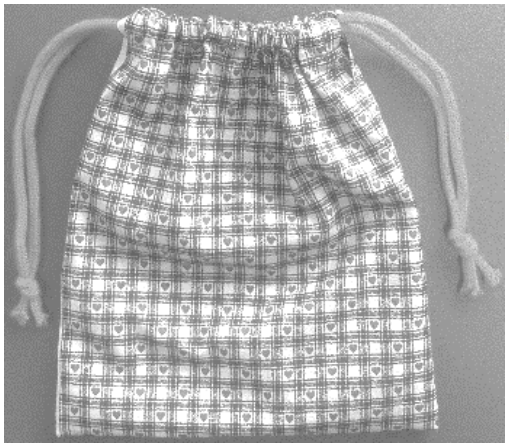




装 飾 の 例

- ボタンを付ける
- 布を２種類使い、切り替えのあるデザインにする
- マチ付きにする（底に厚みができる）
- レースなどを縫いつける
- 刺し子や刺繍をする　.

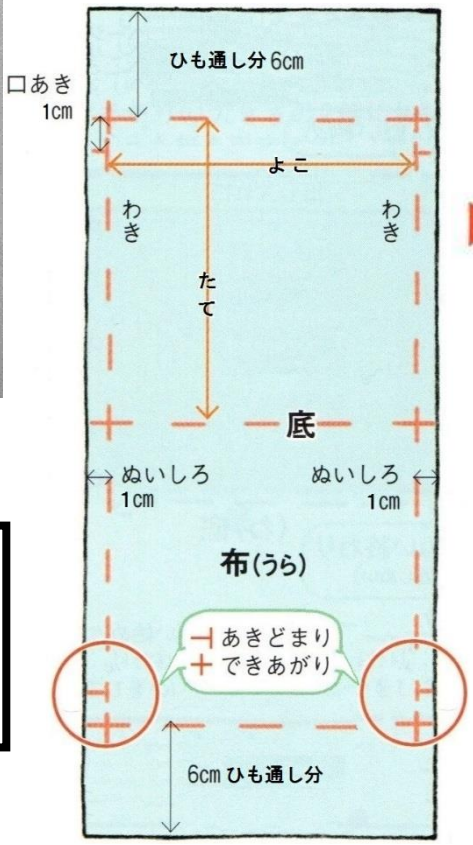
小袋 完成図



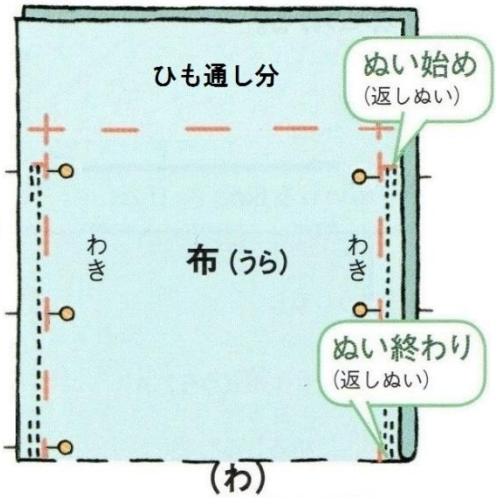
※ひもでしぼる分を考え、
ゆとりをもって作るとよい.

※□で囲まれたポイントを動画で見てみよう。
※小袋の作り方がわからなくなった時は、
それぞれの工程の解説動画も確認してみよう。
（左ページの動画項目を参照）

①布を裁って、印をつける。

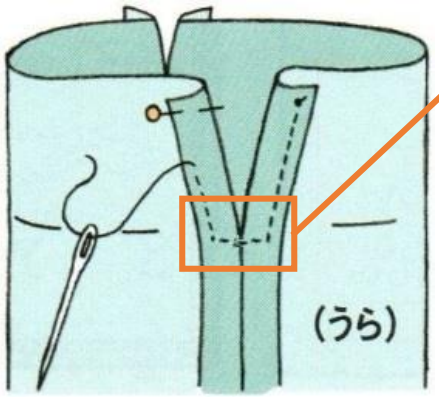


②袋の脇を、口あきどまりから底まで縫う。

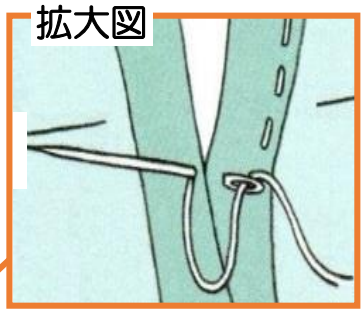


※わきはまち針でとめる。まち針の打ち方
※縫い始めと縫い終わりに返し縫いをする。
※半返し縫いやかがり縫いなどで縫うと
丈夫になる。 半返し縫い，かがり縫い

③脇の縫い代を開き、口あきをコの字に縫う。

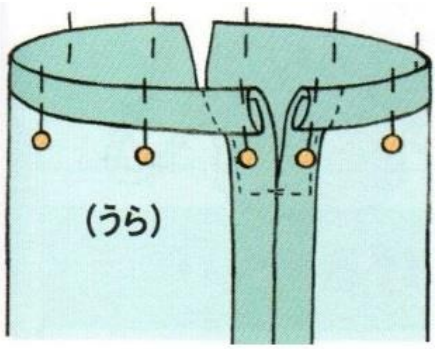


拡大図



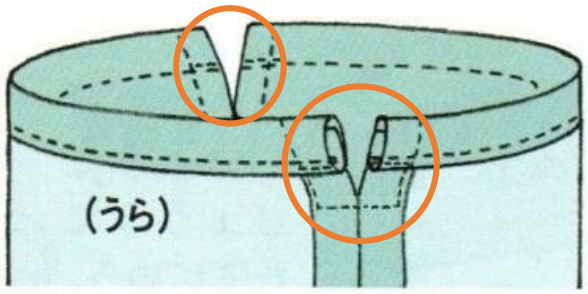
※口あきどまりの真上は
1～2 回返し縫いをする。
※しつけ糸で一度縫っておくと
縫いやすくなる。

④ひも通しを三つ折りにして、まち針でとめる。



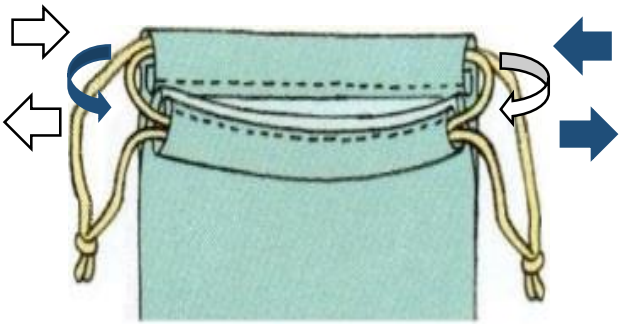
※まず 1cm 折り、そこからさらに 2.5cm 折る。
使用するひもが通る幅になっているか確認する。
三つ折りの仕方

⑤ひも通しを縫う。



※縫い始めと縫い終わりに返し縫いをする。
※縁(ふち)に沿うように縫ってひもが通る幅を確保する。

⑥表に返してひもを通す。



※2 本のひもを入れ、長さを調節してから両端を結ぶ。